| 学校番号 | 2101 |
|---|---|

# 令和８年度　学校設定教科

| 教科 | 自己実現のための日本語 | 科目 | （学）母語継承語Ｅ | 単位数 | １単位 | 年次 | 全年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 使用しない | | | | | | |
| 副教材等 | 使用しない | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

外国にルーツがあり、自分のルーツの言葉・文化を学ぶための授業です。
クラスのレベルに合わせた内容にしますから、安心してください。
母語継承語を通して、論理的思考力や学習言語能力の向上をはかります。
予習復習があるときは、必ず取り組むようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・学齢期相当の母語の資料などを読みうる言語力を身につける。
・学齢期相当の母語での作文を書くことができる。

【思考力、判断力、表現力等】
・母語継承語を使って、論理的に物事を考えたり文章構成を考えたりすることができる。
・母文化継承文化について学び、他の言語圏の文化と比較し、考察することができる。

【学びに向かう力、人間性等】
・母文化継承文化を大切にし、世界に羽ばたく人材として学びに向かう言語力、思考力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・学齢期相当の母語の資料などを読みうる言語力を身につける。<br>・学齢期相当の母語での作文を書くことができる。 | ・母語継承語を使って、論理的に物事を考えたり文章構成を考えたりすることができる。<br>・母文化継承文化について学び、他の言語圏の文化と比較し、考察することができる。 | ・母語・継承語を通して他者とのかかわりの中で伝え合う力を高めようとしている。<br>・母文化継承文化をたいせつにし、世界に羽ばたく人材として学びに向かう言語力、思考力を養っている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前半 | 未来を考える | ・母文化について考え独自性についてまとめる<br>・自分のルーツと向き合い、今までの自分史を振り返る | a:母文化の独自性について理解できる<br>b:母文化の特徴について考え、伝えることができる<br>c:母文化も多文化も尊重する力を醸成している | ・小テスト<br>・単元テスト<br>・発問 | ・発問<br>・記述の点検 | ・発問<br>・観察<br>・感想文 |
| | 世界の時事問題を知る | ・母語継承語で自分の思っていることや考えていることをまとめ、スピーチする | a:母語継承語で情報を読み取り、それを日本語に訳すことができる<br>b:自分の考えをまとめ他者に伝えるとともに、他者の主張に寄り添う姿勢を示している<br>c:自分の考えをまとめ他者に伝えるとともに、他者の意見に寄り添おうとしている | ・小テスト<br>・単元テスト<br>・発問 | ・記述の点検<br>・スピーチ | ・スピーチ<br>・観察<br>・感想文 |
| 後半 | 社会資源となるには | ・自分の持っている言語資源等を活用し、社会のために何ができるかを考える<br>・母国と日本の文化比較を行い、共通点や差異について考える | a:生活圏内における社会の状況についての知識を有する<br>b:複言語できることについて考え、母語や日本語を用いて他者に伝えることができる<br>c:母語や日本語など自身の言語資源を活用しようとしている | ・小テスト<br>・単元テスト<br>・発問 | ・発問<br>・記述の点検 | ・観察<br>・感想文 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度